

## 240 の運用は免許の最大出力で！！

電波法には下記の定めがありますが、240 の運用においては、「何時でも、誰でも、何処からでもブレイクどうぞ」となっているので、遠距離局に届くよう、第 1 項を守り、免許の範囲内で、できるだけ大出力でお願いします。

近距離の固定局同士の QSO では、一見第 2 項に反するようですが、遠距離からブレイクするモバイル局等のためです、第1項を守っていれば、「必要最小のものである」筈です。

## 電波法 第 54 条

無線局を運用する場合においては、空中線電力は、次の各号の定めるところによらなければならない。

ただし、遭難通信については、この限りでない。

1. 免許状等に記載されたものの範囲内であること。
2. 通信を行うため必要最小のものであること。

遠方の、50W モービル局にサービスするため、固定局は、受信能力を上げ、遠方に届く強力な電波が送れるように垂直八木で 200W 運用するのが理想です。

3 アマに安住せず、1 アマ、2 アマを取得、QRO してください。

## なぜ 1 アマ？

移動局は、HF も 50MHz も、また 3 アマも、2 アマ・1 アマでも出力は 50W が上限、500W や 1KW の固定局を開局するつもりは無い、だから 1 アマなど必要ないというのが、大方の 3 アマ局の言い分です。

ここで一寸待ったです、折角無線をやっているのだから、JA で許可される全てのバンドにオンエアーできる方が FB かと思いますし、200W までは、検査無しで免許されます、固定からモービル局を追いかけるのもハイパワーならサービスエリアが違ってきます。

かつては、1 アマ取得には、和文 CW の送受信ができなければいけなかったため、諦めていた局が多かったと聞きますが、CW 試験は欧文 25 字/分の 2 分間受信のみ（平成 17 年 9 月 30 日以前の 2・3 アマは免除）、現在は、CW 試験は無くなり(学科試験に一部形をとどめてはいるが)、また法規・工学の試験も多肢選択式となり受験し易くなっています。

ここは矢張り挑戦でしょう。

その昔の、1 アマ試験は、工学・法規とも、筆記式、モールの試験は、欧文普通語：60 字/分×3 分、和文；50 字/分×3 分の送受信だった、240 の 1 アマ資格者（4 局）は、全てこの試験をクリアーしている。